

蚕糸絹文化学習教育奨励褒賞

(蚕を学ぶ奨励賞)

栃木県 小山市立絹義務教育学校

活動概要

絹義務教育学校は、平成29年に福良小学校、延島小学校、梁小学校と絹中学校が統合して開校した義務教育学校で、統合前から養蚕と結城紬の学習に取り組んできた。統合後も9年間一貫した教育課程の中で地域との連携を継続させながら全児童生徒で学びを深めている。1・2年生が育てた繭は、笠間稻荷神社献穀献繭品評会に出品し一等位を受賞している。また、育てた繭を使って8年生が繭コサージュを作成し9年生の卒業記念品としている。

「結城紬」の生産工程が複数の分業で成り立っていることから、前期課程6年間で作業工程を学び、後期課程3年間で着心地体験をはじめとする絹文化の伝統の継承と発展につながる活動に取り組んでいる。

群馬県 桐生市立南小学校

活動概要

南小学校では、桐生市の絹織物産業の歴史・文化を学ぶため、3年生では蚕の飼育、織物体験、校旗づくり等を平成20年から総合的な学習の時間で実施している。

平成27年度から令和元年度まで行われた群馬県絹文化継承事業「校旗を作ろうプロジェクト」に参加し、育てた繭からできた生糸で校旗を制作した。

また、4年生の総合的な学習の時間において、桐生市の現在を学ぶため、織物産業の歴史から近代・未来に繋がる織物、繊維工場の見学や調べ学習を通して、未来に繋がる絹織物産業の技術革新や世界で活躍する企業の取組を学んでいる。